

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(相生小)学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から学校運営の基本方針について目指す子供の姿、身に付けたい資質・能力などのビジョンについての説明を受け、学校運営の当事者として理解することができた。委員が様々な視点から積極的に意見を出し合うことにより、さらに理解度が深まった。また、委員の方々の学校への熱い思いを共有することができた。ビジョン実現に向けて、学校だけでなく、地域・家庭がともに子供を育てる必要性を考えることができた。
- 「キャリア教育を軸とした学校づくり」について校長から話を聞き、委員各自がそれを理解しようと努め、委員それぞれが自分の考えを出し合い、幅広い視点から意見が多く出され、共有することができた。
- 委員の思いを出し合い、教育理念や、何のために、どんな姿を目指すのかを十分教習しないと主体的に協働に向かうことができない。次年度以降も熟議の充実に向けて、委員全員で学んでいきたい。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 「キャリア教育を軸とした学校づくり」のためには、地域人材の活用が大切であるとの共通認識に立ち、委員から意見が出された。できるところから始めようと学校支援コーディネーターから今年度の活動計画や活動報告を受け、成果を上げることができた。
- 学校の困りごとに詳しい委員、長く学校評議員として携わってきた委員と分科会的な集まりを形成して話を深め、考え方の偏りを防ぎ、お互いの認識のすり合わせを行った。これにより学校運営協議会の進行を効果的にスムーズに行うことができた。
- 学校の課題やニーズを十分つかめていない。地域がどのように動いていけば、子供たちの力や可能性を伸ばすことにつながるのか思案中である。教職員の多忙な状況も理解しているので、まずは、授業の様子を参観したり、ともに活動したりすることで、方向性を見つけていきたい。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 様々な委員の意見を聞いたことで、学校や子供を捉える視点が広がった。学校・家庭・地域で一緒に子供を育てる必要性とともに、役割分担も大切だという共通認識をもった。その旨を整理し、家庭・地域に発信していきたい。
- 社会に開かれた教育課程、資質・能力、キャリア教育等、自分たちも共に学ぶことが多かったため、この認識を地域全体まで広げ共有したい。
- 運営協議会での議論を形にしていきたい。子供たちにも地域の人々が自分たちの学校のために関わってくれていることを知ることが大切である。
- 学校教育の理解を深めるために、家庭や地域への発信方法を探り、今後の教育活動への充実を図りたい。
- 発達障がいについての理解を深める。また、対策として子供たちのストレス、劣等感を軽減していくことを目標にしたい。
- 委員全員で意見を出し合い、教育活動の充実のために協議会の合議として意見をまとめることができるようにしたい。
- 今年度の「キャリア教育を軸にした学校づくり」をさらに進め、地域人材の活用やキャリア教育の大切さを保護者にも広く浸透させていく方策を熟議していきたい。